

2 目標達成計画

事業所名：グループホームすりさわ

作成日：平成 26年 5月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 13 | 入居者の安全の確保と安全を提供するために、運営推進会議で取り上げ協力を得ながら、地域代表者との連携を図り、行政との協議を積み重ね自衛防衛組織への参加推進を図れる事を期待したい。 | 防災対策について、運営推進会議で取り上げ協力を得ながら、地域代表者との連携を図り、消防行政が進める自衛防衛組織への参加を図り、入居者の安全の確保と安全を提供する。 | ①防災対策について運営推進会議で取り上げる。 ②消防行政担当に自衛防衛組織への参加推進を要請する。 ③地域代表者と連携を図る。 | 6 か月 |
| 2 | 9 | 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態など現状の把握に努め、定期的にカンファレンスを行っているが、支援につながらない。 | ケアプランに基づいた支援を行うと共に、一人ひとりに寄り添いながら、チームとして支援を行う。 | ①ケアプランの把握し、不明な点はそのままにしない。 ②情報の共有を図り、必要な時に必要な支援を図られるように職員間で意見を出し合う。 ③入居者個々の声に傾聴し、日々の状態把握し、その記録を行いながら、情報の共有と活用を強化する。 | 6 か月 |
| 3 | 18 | 日常的な外出支援として、入居者一人ひとりが「帰りたい」とか「買い物に行きたい」時に出かける状況になっていない。また、外出する機会が少ない。 | 戸外へ出かける行事や入居者の希望に添って戸外へ出かける機会を増やす。 | ①入居者の希望に添って戸外に出かける方針を職員間で再度確認する。 ②入居者の希望に添って戸外に出かける。 ③家族と連携を図り、戸外への外出に協力していただき、外出する機会を作る。 ④戸外へ出かける行事を増やす。 | 6 か月 |
| 4 | 8 | 馴染みの関係継続の支援として、家族の面会が少ない、または限られた家族になっている状態で、それぞれの都合もあると思われるが、もっと関心を持ってもらいたい。 | 家族の意向や要望を聞く機会を定期的に設けて、入居者の生活の様子を伝え、生活目標を共有できるようにする。 | ①家族の近況をお聞きしたり、入居者の近況を伝える方法として手紙や電話を利用する。 ②定期的に広報を発送しながら、家族の声も掲載していく。 ③遠方の家族のための情報発信方法を検討する。 ④年間行事へ家族の参加を促す。 | 6 か月 |